人間発達研究所

発達保障学校2024

2024年度は、対面とハイブリッド（対面とオンライン併用）での開催です

人間発達研究所は、人間発達について学んだり研究したりする場を求めている人や若手研究者の拠点として1985年に誕生しました。
発達保障学校は、その活動の成果を伝えつつ、共に次代の担い手を育成する場を、とのねがいを込めて、2000年に開校しました。
目の前にいる子どもや青年はどのような発達のすじ道をたどり、その時々にどのような援助が必要なのか？　発達を学び、実践のあり方を考えあい、社会のあり方を考えあう、他にはない学びの場です。
あなたもここで学ぶ楽しさを味わってみませんか？
各コースには「世話人／TA」がおり、受講をサポートします。

事前学習会＆説明会

テーマ：　**発達･発達保障を学ぶ魅力（仮）**
日時：2024年5月12日（日）9:30～11:30
講師：垂髪あかりさん（神戸松蔭女子学院大学）
形態：ハイブリッド
会場：コラボしが21（大津市打出浜2-1）研修室
参加：無料　　※録画配信もあります

この企画は、発達や発達保障を学ぶ意味を考える講義と、
各講師によるコースの紹介です。
オンラインで事前学習会＆説明会の申し込みをされた方には、
研究所オリジナルの「ZOOM受講の手引き」を案内します。
気軽に参加してみませんか？
※「事前学習会＆説明会」の録画配信は、後日、録画を編集してご案内します。
※オンライン参加には、インターネットの環境が必要です。

人間発達研究所

〒520-0052　滋賀県大津市朝日が丘1-4-39　梅田ビル3階
http://www.j-ihd.com
Email　j-ih63su@j-ihd.com　　Tel/fax　077-524-9387

申し込みについて

申込締切：各コース開始８日前
受講申込書に必要事項を記入し、
人間発達研究所まで
お送り下さい。
4月1日より受付開始

インターネットからの申込みはこちらのQRコードから→

受講料

10回コース／研究科
【一般】 40,700円（税込）
【会員】 35,200円（税込）
【25歳以下会員※】
27,500円（税込）

5回コース
【一般】 20,350円（税込）
【会員】 17,600円（税込）
【25歳以下会員※】
13,750円（税込）

発達診断方法論基本編
【一般】 4,070円（税込）
【会員】 3,520円（税込）
【25歳以下会員※】
2,750円（税込）

入門の入門コース
【一般･会員】 9,020円（税込）
【25歳以下会員※】
6,600円（税込）

※1998年4月2日以降生まれの会員が対象です。
同時入会で会員価格を適用します。

申し込み後のキャンセル

郵送･FAX･Emailでお知らせ下さい。
講義開始後はキャンセルできません。

入門の入門コース（乳幼児期・青年成人期）

対面開催　講義とグループワーク　3回（9:00～12:30）
【講師】安藤史郎（社会福祉法人　療育・自立センター）
坂本　彩（彩社会福祉士事務所）
松永朋子（４月より射水市こども家庭センター）

入職後3年くらいまでの方が対象です。乳幼児期から成人期を対象とする方まで、グループワークもしながら学び合います。目の前で起こっている問題や悩みを発達的に読み解くとどうなるのか。そのような見方・考え方の入り口に立てることをめざします。発達や発達保障について基本的なことを学び、実践の楽しさや難しさについて、みんなで分かち合いましょう。4年ぶりの対面開催で、内容もブラッシュアップしました。

発達入門コース

ハイブリッド開催　講義形式　5回（13:30～16:30）
【講師】髙田智行（大津市総合保健センター）

「発達とは？」からはじまって、乳児期から就学前までの発達の道筋を追いながら発達の基本を学ぶコースです。発達は「～歳の発達の特徴は…」というように定点で捉えるのではなく、つながりの中で捉えることでみえてくることがあります。そのみえてきたことをどう実践にいかすのか、乳幼児健診や障害児保育などの実践事例も交えて講義をすすめます。子どもを発達の主体・発達の権利主体として捉えるということについても、皆さんと一緒に考えたいと思います。

実践が楽しくなる実践記録コース

集中講義（対面開催）と
オンライン開催　ゼミ形式　3回（9:00～12:00）
【講師】　山本翔太（社会福祉法人 桃郷）

実践記録を書く――。「何」を書いたらいいのか。「どう」書いたらいいのか。日々の実践の一コマ、相手の思い、自分の思いを言語化できるようになること。10年後に読み返しても「生き生きとした姿が目に浮かぶ」ような記録を書くことをめざします。今年度は、①集中講義　と、②自分で書き上げたい人のゼミの２本立てを企画しました。
①のみの受講も可能です。②は個別添削もしながら、実践記録を1本書き上げられるようにサポートします。初任～中堅の人に。

実践を学びあうコース

ハイブリッド開催　ゼミ形式　5回（13:00～16:00）1回目は9:30～12:30
【講師】　田村和宏（立命館大学）

日々向き合っている障がいのある子どもや青年へのとりくみ（活動や仕事）やその姿や生き方のとらえ方をコースに参加している多様な職場の人たちの眼でいっしょに解きほぐしてみませんか。自分の実践を多様な視点から見直してみることで、「わたしも、なかなかやん」「こういう見方があったか」など、障がいのある人たちの内にある「ねがい」に触れ直して新たな発見や気づきに出会える、そしてそのことで自分も変わる、そんなコースです。
具体的には、参加者が実践報告をします。その報告を参加者みんなで議論しながら、時にテーマを設定して話し合います。そのなかで個人の発達にかかわることだけではなくて、実践の進め方や組織論、地域づくり、今の施策のことなどの意見交換もできればと思っています。発達保障とソーシャルワークのコースともいえるかもしれません。
一昨年は「徹底的に向きあう」ことがもつ力について話題になりました。

福祉政策コース

ハイブリッド開催　講義形式　5回（13:00～16:00）1回目は13:30～16:30
【講師】　田村和宏（立命館大学）

参加者の日頃の疑問や関心を出発点に、日頃ピンとこない福祉政策について講師がやさしく解説し、そこから職場とくらしと実践をつなげて理解ができるようにテーマを設定して意見交流を行います。個人の姿や事業所の実践について、社会のあり方との関係で評価できるような力をつけていきましょう。不正受給や事故や虐待が増えてきています。自分たちの実践が、今日の社会の在り方の中でどこに向かっているのか、主人公は誰なのかなど見つめ直すことができる「発達保障の眼」をつけていきましょう。

2023年度は、子ども子育て関係の施策の動きと障害児支援の施策議論の状況、障害福祉サービスの改定の動きなどについて学習と議論を重ねてきました。2024年度は、障害福祉サービスの報酬改訂の成果と課題を学習しながら、財政的なことや単位の変更の学習だけではなく、誰のためのどんな仕組みなのかにも目を向けた議論ができるようにしたいと考えています。

発達基礎理論研究コース

ハイブリッド開催　ゼミ形式　10回（13:30～16:30）
【講師】　荒木穂積（立命館大学名誉教授）

田中昌人らの「可逆操作の高次化における階層-段階理論」の学習をすすめます。2024年度は、幼児期前半（1・2歳児）に焦点をあてて学びます。前半は田中昌人『人間発達の科学』青木書店,1981年、田中昌人『人間発達の理論』青木書店,1988年をテキストに、「話しことば獲得期」や自我の誕生・拡大・充実の時期の理論とその発展過程を学んでいきます。後半は田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断3：幼児期Ⅰ』大月書店,1982年をテキストに発達診断と発達支援の実際について学んでいきます。難解といわれる発達理論ですがゼミナール形式で楽しく集団的に学んでいきましょう。

オプションで『光の中に子供たちがいる』（パート1～3）や幼児期の映像を視聴する予定です。幼児期前半の発達を学習したい方、発達理論を学習したい方、実践者、大学院生、若手研究者のみなさん参加を期待しています。公開学習会・集中講義も別途計画します。

発達診断方法論 基礎編コース（心理専門職コース）

対面開催　ゼミ形式　1回（13:00～16:00）
【講師】　木下孝司（神戸大学）

発達診断と、保育・教育の専門性に基づいた子ども理解には、方法論の相違もありますが、子どもの内面世界を読み解き、その願いや悩みを再発見するという目標は共有されるものです。発達診断に実践的な視点を導入して、子ども理解を深めていくのに必要な発達研究の方法を確認して、受講者の皆さんが発達診断において工夫されていることを交流します。

発達診断方法論 臨床編コース（心理専門職コース）

対面開催　ゼミ形式　5回（13:00～16:00）
【講師】　松島明日香（滋賀大学）
富井奈菜実（奈良教育大学）

このコースは、発達診断において欠かせない基本的な概念の整理（講義、文献学習）と、事例を通しての学び（演習）の組み合わせによって学習していきます。新版K式発達検査を学んだことがある人、発達相談・発達診断に携わっている人が対象です。同時に「発達診断方法論基礎編コース」を受講されることをお勧めします。

研究科

ゼミと個別指導によって論文を書き上げます。2024年10月～2026年10月
【研究科長】　　渡部昭男（鳥取大学名誉教授）
【研究副科長】　山田宗寛（小鳩会）
オンライン開催です。2年間で研究論文を書き上げ、『人間発達研究所紀要』に投稿することをめざします。2か月に1回程度の全体ゼミと発表会、指導教員とのやりとりで執筆を支援します。申し込みに際しては研究計画を作成していただき、面接（オンライン）のあと受講を決定します。紀要への投稿は、先行研究やテーマの妥当性・独自性が必要な原著の他に、実践記録、事例検討、研究ノート、動向、報告、実践紹介、資料等があります。発達に関わる論文の場合は、心理学の基礎的学習を終えられていることが望ましいです。このコースの締め切りは9月末です。

コース	入門の入門	発達入門	実践が楽しくなる実践記録	実践を学びあう	福祉政策	発達基礎理論研究	発達診断方法論基礎編	発達診断方法論臨床編
回　数	3回	5回	5回	5回	5回	10回	1回	5回
講　師	安藤史郎 坂本　彩 松永朋子	髙田智行	山本翔太	田村和宏	田村和宏	荒木穂積	木下孝司	松島明日香 富井奈菜実
開催形式と会場	対面 (大津市内)	ハイブリッド (大津市内)	対面と オンライン	ハイブリッド (研究所)	ハイブリッド (研究所)	ハイブリッド (研究所)	対面 (研究所)	対面 (研究所)
定員	20人	70人	10人	15人	15人	15人	10人	10人
6月	23日(日)	16日（日）		23日（日） 午前	23日（日） 午後	8日（土）		
7月		21日（日）	28（日） 対面・集中			13日（土）		
8月		18日（日）			25日(日)	24日(土)	31日（土）	
9月	29日(日)	15日（日）		29日（日）		7日（土） 28日（土）		14日（土）
10月		20日（日）	6日（日）		27日(日)	26日（土）		12日（土）
11月			17日（日）	24日（日）		30日（土）		
12月	1日（日）		個別添削		22日(日)	21日（土）		14日（土）
1月				26日(日)		11日（土） 12日（日）		25日（土）
2月			9日（日）	3月2日(日)	16日(日)			22日（土）

実践が楽しくなる実践記録　集中講義

【日　時】　2024年7月28日（日）
12：45～16：45
【会　場】　コラボしが21　（大津市打出浜2-1）
【講　師】　山本翔太（社会福祉法人 桃郷）
【ゲスト講師】　竹澤 清（NPOあいち障害者センター）
【受講料】　一般　5,000円（税込み）
会員　3,500円（税込み）
25歳以下会員　2,500円（税込み）
「実践が楽しくなる実践記録コース」を受講される場合は受講料に含まれており初回となります。

2024.3.9